



「絆づくり」の活動(池上小学校)

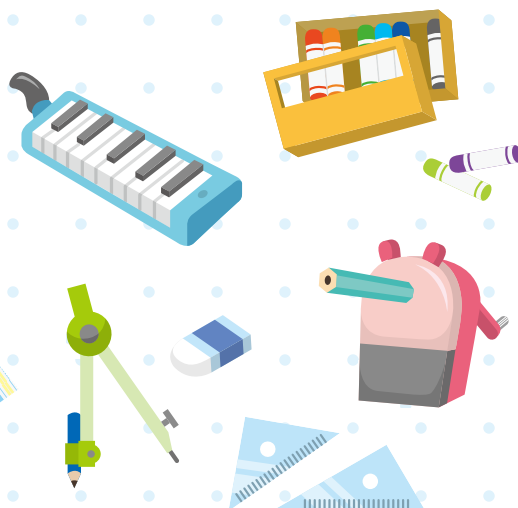
★輝け!



よこすかの 子どもたち



土曜科学教室の様子



横須賀市の学校教育

新・学習指導要領スタート

学校で学んだことが、子どもたちの今日の生活を豊かにし、将来の生きる力を支える学力となるように、新しい学習指導要領が、小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から全面実施、高等学校では令和4年度の新入生から実施されます。特別支援学校は、小・中・高等学校学習指導要領に合わせて実施されます。

★「学習指導要領」とは…？

全国どここの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程の基準です。その時代に求められる学力を反映させながら、およそ10年に一度改訂され、これを基に子どもたちの教科書や時間割が作られています。

学習指導要領改訂の方向性と「社会に開かれた教育課程」

「社会に開かれた教育課程」とは…？

- ① よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという**目標を学校と社会とが共有**していく
- ② 子どもたちが社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り開くために**必要な資質・能力を明確化しながら育て**いく
- ③ 地域の人的・物的資源を活用したりする等、**学校教育を学校内で閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現**させていく

何ができるようになるか

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる思考力・
判断力・表現力等の育成

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

- 小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など
- 各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す
- **学習内容の削減は行わない**

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

- 生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
- 知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

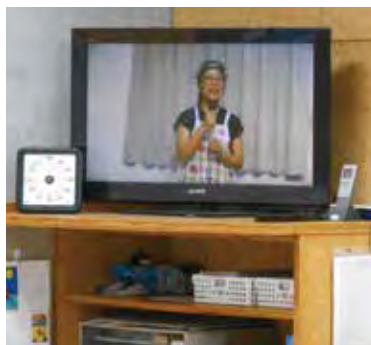


本年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響により、4月からしばらくの間、市立学校では臨時休校となったものの、小学校では6月の学校再開以降、感染対策にも工夫しながら、新しい学習指導要領を踏まえた授業や取り組みが始まっています。

児童図書館との連携（諏訪小学校）

9月8日(火)の諏訪小学校の朝会には、学区内にある児童図書館の館長が参加し、子どもたちに児童図書館の紹介や、本を読むことの良さや楽しさなどの話をしました。

各教室でテレビを視聴する形式での朝会となりましたが、子どもたちは真剣な表情でよく話を聞いていました。



2年生の教室では「知ってる！児童図書館だ！」とか、話を聞いた後に「児童図書館に行ってみたい！」といった子どもたちの声がありました。

最後には、校長先生から「学区に素敵な図書館があることが分かりました」「諏訪っ子の皆さんには、もっと本を好きになって、さらに心が豊かになってほしい」といったメッセージが送られていました。このように、学校と地域が同じ思いや願いを共有した様々な取り組みが行われています。

また、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりのための、教職員対象の研修講座等も再開しています。

「スキルアップ研修講座」「パワーアップ研修講座」の開催（教育研究所）

教職員を対象として、大学附属学校教諭等を講師に招き、子どもが主役となり、予測困難な時代を生き抜くための力を育てるための授業づくりについて学ぶ「スキルアップ研修講座」や、横須賀市内で数多くの実践を積み重ねてきた先生を講師に招き、授業づくりの方法について学ぶ「パワーアップ研修」を開催し、教職員の授業力向上につなげています。



パワーアップ研修講座の様子

子どもの学びを豊かにする「小中一貫教育」

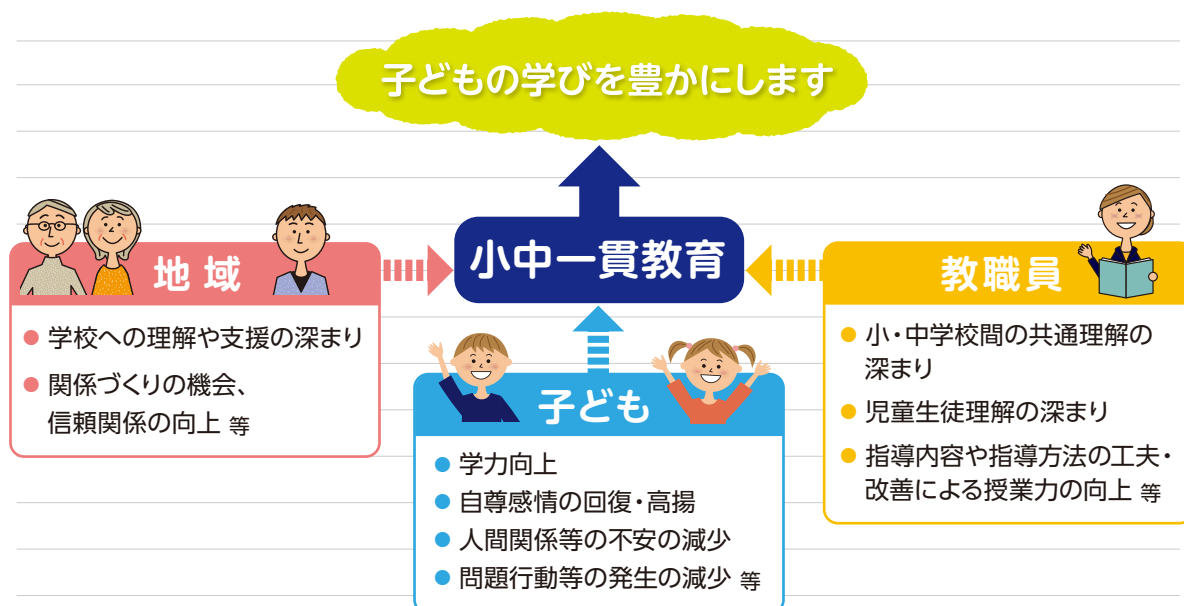
横須賀市では、平成28年度から、すべての市立小中学校で「小中一貫教育」に取り組んでいます。

★ 小中一貫教育とは …？

通学区域を共にする小中学校が、子どもや地域の実態をもとに、指導の在り方や具体的な教育活動を協働して考え、取り組むことにより、義務教育9年間の「学びの系統性・連続性」を重視した教育の充実を図るものです。

※ 横須賀市の小中一貫教育は、中学校ごとの「ブロック」を設定し、小・中学生がそれぞれ在籍する学校で学校生活を送る「施設分離型」での小中一貫教育を行っています。

小中一貫教育で期待する効果



日常的な取り組みに加え、年間3回「小中一貫教育に関する日」を設定しており（5月、10月、1月）、各中学校ブロックの全教職員が集まり、授業研究やテーマに沿った研修、情報交換等を行っています。

■■■ 池上中ブロック（池上中・池上小）の取り組みから ■■■

池上中学校ブロックでは、国立教育政策研究所から研究の委託を受け「魅力ある学校づくり調査研究事業」に取り組んでいます。これは、子どもたちの居場所づくりや、仲間や教員との絆づくりをととして、子どもたちにとって「魅力ある学校」を目指すものです。この取り組みを、小中一貫教育の一つとして位置づけ、小学校と中学校が一体となって進めています。

